



世界標準債券ファンド
愛称:ニューサミット

世界標準債券ファンド(1年決算型)
愛称:ニューサミット(1年決算型)



～ 最近の基準価額動向と投資通貨各国の状況について ～

世界景気の先行き不透明感を背景に、金融市場では、投資家のリスク回避の動きとともに、価格変動の高まる状況が続いています。

当ファンドでは、国際経済・政治動向に大きな影響を与えると思われる国や地域の通貨の中から、3通貨程度を選定し、当該通貨建てのソブリン債に投資しております。また、適宜投資通貨の見直しを行なうことで、基準価額はこれまで概ね堅調な推移をみせてきました。しかしながら、最近の市場変動の高まりを受け、当ファンドもその影響を余儀なくされることとなり、基準価額の変動が大きい展開となりました。

当資料では、最近の基準価額動向および投資通貨各国の状況について、ご説明いたします。

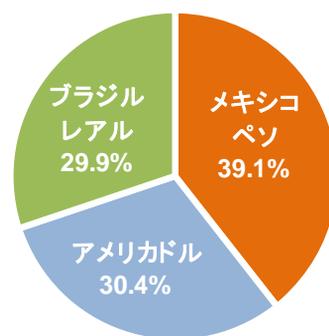
2013年来の変動の大きさとなった基準価額

＜「ニューサミット」基準価額の推移＞
(2010年3月18日(設定日)～2015年10月16日)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。

＜外国通貨別構成比＞
(2015年9月末現在)



※当ファンドの主要投資対象である外国投資信託の数値であり、比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
※決済用にアメリカドルやユーロなどの主要通貨を保有する場合があります。
※比率は小数点以下第2位を四捨五入しています。比率はその他があるため100%とされない場合があります。

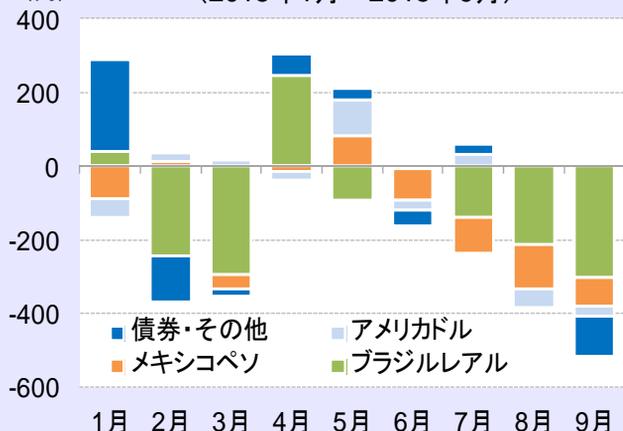
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称:ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称:ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

最近の基準価額変動と投資環境について

- 為替市場では、年初以降、米国での利上げ観測などを背景に、米ドルが対円で堅調に推移した一方、新興国通貨は軟調傾向となりました。なかでもメキシコペソは底堅く推移したものの、8月に、中国景気の鈍化や世界景気の先行き懸念が強まると、投資家のリスク回避の動きが強まり、新興国通貨に加えて米ドルも売られた一方、円が買われる展開となりました。こうしたなか、政局不安や景気鈍化懸念、国債格下げなどが嫌気されたブラジルレアルの対円での下げが大きくなりました。ただし、米利上げが見送られた9月以降は、メキシコペソやブラジルレアルに持ち直しの動きがみられています。
- 当ファンドの基準価額は、債券等要因に下支えされたものの、為替変動の影響を大きく受けることとなりました。なお、市場環境に応じて投資する3通貨の債券比率を調整するとともに、足元で、メキシコペソの比率を高めるなどの調整を行ないました。

＜「ニューサミット」基準価額騰落の市場変動要因＞
(2015年1月～2015年9月)



2015年の基準価額は、為替変動による影響度を大きく受け、特に、世界的に金融市場の変動が高まった8月以降の下落が顕著となりました。

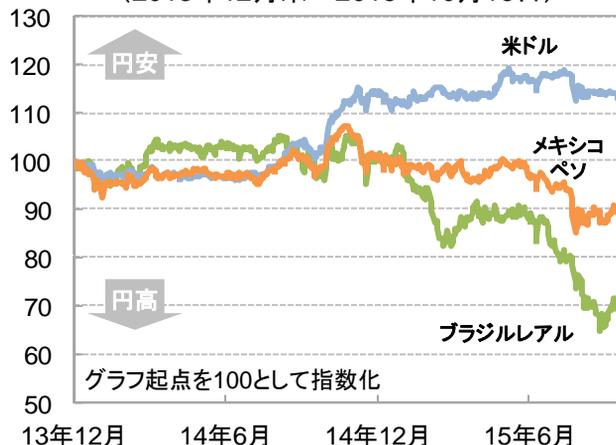
＜1月～9月の変動要因合計＞

ブラジルレアル	メキシコペソ	アメリカドル	債券・その他
▲1,014円	▲424円	▲18円	+79円

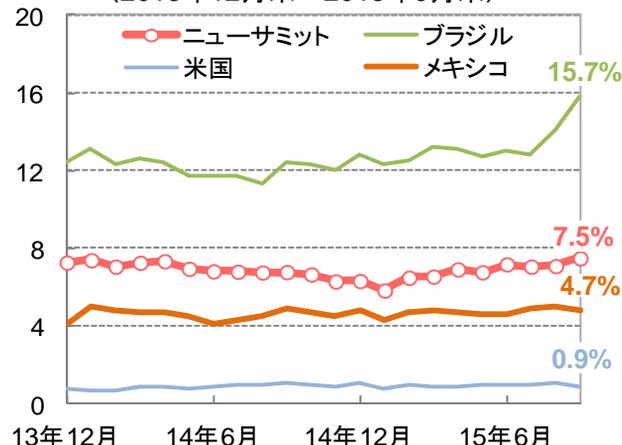
上記の市場変動要因のほか、この期間にお支払いした分配金として、毎月▲70円(合計▲630円)があります。

※左記は、基準価額(1万口当たり)における騰落を要因分解したものです。
※要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

＜各通貨の推移(対円)＞
(2013年12月末～2015年10月16日)



＜ニューサミットと主要国国債(3年物)の利回りの推移＞
(2013年12月末～2015年9月末)



※ニューサミットの利回りは、主要投資対象である外国投資信託「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」の最終利回りです。最終利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したもので、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。将来得られる期待利回りを示すものではありません。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

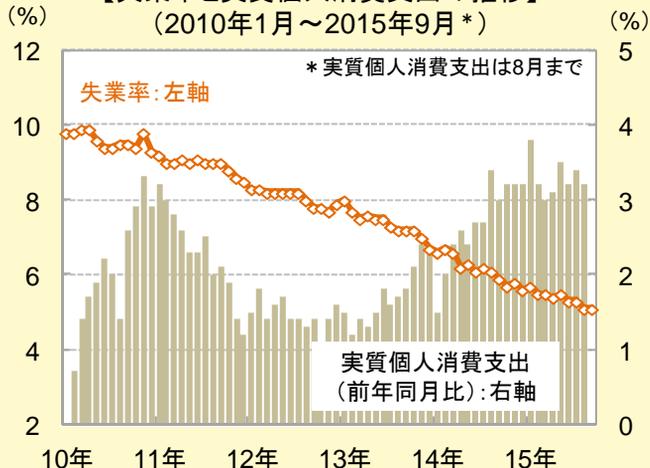
組入通貨各国の投資状況 ～アメリカ～



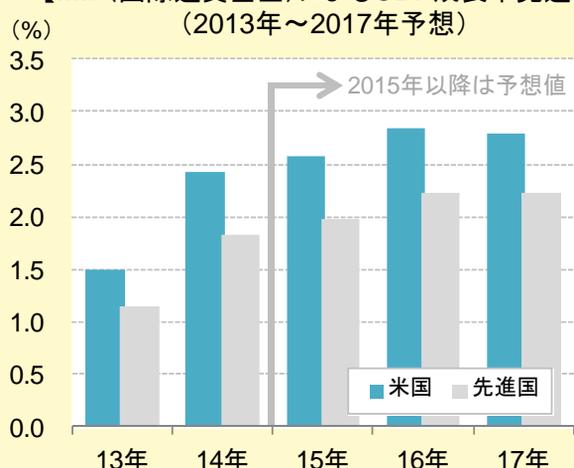
- 9月のFOMC(連邦公開市場委員会)では、世界情勢の不透明感などを背景に、利上げは見送られましたが、失業率は安定的に低下しているほか、GDPの約7割を占める個人消費の伸びは、過去5年内の高水準で推移するなど、米国景気は堅調な推移が続いています。
- 利上げ時期については、外部環境の不透明感などから判断が難しく、来年となる可能性もありますが、堅調な米景気や、量的緩和を継続する日欧などの政策金利の相違などを背景に、アメリカドルは今後も底堅く推移することが見込まれます。

堅調な経済情勢を背景に、底堅い推移が期待されるアメリカドル

【失業率と実質個人消費支出の推移】



【IMF(国際通貨基金)によるGDP成長率見通し】



雇用の増加と米GDPの約7割を占める個人消費が米国景気を支えると期待される

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

金利の正常化に向いつつある米国は、先進国景気のけん引役に

(出所:IMF「World Economic Outlook, October 2015」)

【アメリカドルインデックスの推移と長期平均】

(1975年1月末～2015年9月末)



アメリカドルインデックスは、過去の水準と比べて過熱感はなく、堅調な米国景気や日欧との金融政策の方向性の違いを背景に、今後も底堅い推移が見込まれます。

●アメリカドルインデックスとは、アメリカドルの総合的な価値を表す指標で、ユーロや円など主要6通貨を用いて算出されています。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称:ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称:ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

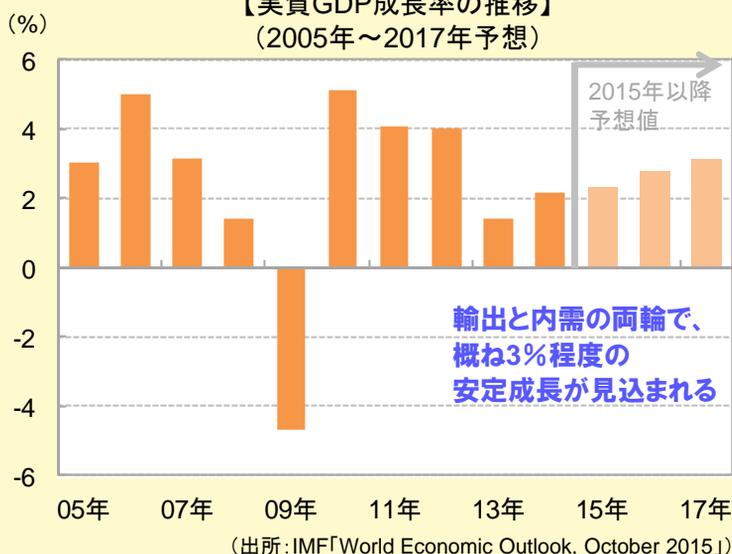
組入通貨各国の投資状況 ～メキシコ～



- 足元で、新興国の景気鈍化が懸念されながらも底堅い成長を続けてきたメキシコでは、原油価格の下落などを背景に、政府が足元の成長見通しを引き下げつつも、2016年の財政赤字半減の計画を維持したことや、石油依存からの脱却を進める姿勢を示したことなどが、市場で好感されました。
- 当ファンドでは、メキシコ経済の持続的な回復と低水準のインフレ率に着目しています。結びつきの強い米国の景気堅調からの恩恵もあり、メキシコでも雇用や内需に明るさがみられ、経済成長見通しは安定的となっています。こうしたことから、足元でメキシコペソの比率を高めています。なお、米利上げ開始時期を巡って新興国通貨が不安定な動きとなっているものの、メキシコ中央銀行は通貨防衛の意向を示しており、米利上げが行なわれる際には、これに追随する可能性が高いと考えられます。

低インフレ・好成長が安定的なメキシコ経済を支える

【実質GDP成長率の推移】
(2005年～2017年予想)



成長加速が期待されるTPP

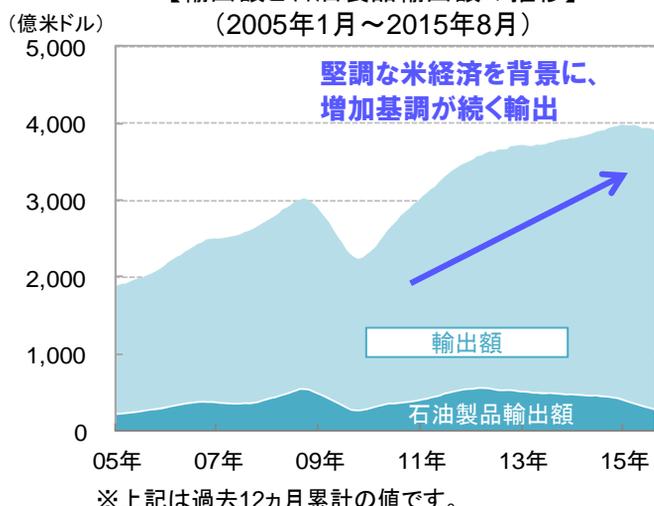
10月初旬に大筋合意に至ったTPP(環太平洋経済連携協定)は、貿易や経済関係の多角化が可能となることから、メキシコ経済の成長加速が期待されます。

＜メキシコの三大輸出品目＞

自動車 生産台数 世界第8位* (2012年)	原油 産出量 世界第9位* (2011年)	カラーテレビ
---	---------------------------------------	---------------

* 出所:「データブック・オブ・ザ・ワールド2015」より

【輸出額と石油製品輸出額の推移】
(2005年1月～2015年8月)



【個人消費と消費者物価指数の推移】
(2009年1月～2015年9月*)



※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称:ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称:ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入通貨各国の投資状況 ～ブラジル～



- ブラジルレアルは、景気減速や政局不安を受けた財政健全化の先行き不透明感などから、7月下旬以降、大きく下落し、2002年以降の最安値を更新しました。ただし、9月下旬には、米利上げが見送られたことで新興国通貨売りが一服したことに加え、ブラジルで内閣改造が発表され、政権運営立て直しへの期待が台頭したこともあり、ブラジルレアルは下げ止まりをみせています。
- ブラジル経済は足元で厳しい状況にあるものの、2016年には、電力料金引き上げの影響が一巡することなどから、インフレ圧力の後退とともに、利下げや金利の低下が見込まれ、景気は持ち直しに転じるとみられます。また、外貨準備高はこの10年で約7倍に積み上げられるなど、レアル売りに対する耐性はかつてに比べてかなり強化されています。そのため、同国政府が、財政健全化に向けた取り組みを維持・強化できれば、ブラジルレアルは安定化に向かうと見込まれます。

潜在成長力や金利水準などから総合的に判断

【ブラジルレアルの推移】



＜足元の主な動き＞

- 7/22 政府、財政目標の引き下げを発表
- 8/3 前政権時の官房長官が汚職疑惑で逮捕
- 8/31 政府、2016年予算案を発表し、基礎的財政収支が赤字見通しに
- 9/9 大手格付会社が外貨建長期国債を投機的格付へ格下げ
- 9/17 米国、利上げを見送り
- 9/24 中央銀行総裁、外貨準備による通貨下支えの可能性を示唆
- 10/2 大統領、内閣改造・行政改革を発表

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

【ブラジルの経済・財政状況の推移】



足元で景気の落ち込みがみられるものの、財政健全化に向けた取り組みの進展とともに、持ち直しが期待されるブラジル景気

(出所: IMF「World Economic Outlook, October 2015」)

【政策金利と消費者物価指数の推移】



懸念されるインフレについては、電力料金などの引き上げが一因となっており、影響が一巡する来年には落ち着きを取り戻すと期待される

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称:ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称:ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



「ニューサミット」の設定来の運用実績

＜設定来の基準価額と純資産総額の推移＞
(2010年3月18日(設定日)～2015年10月16日)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。
 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

「ニューサミット(1年決算型)」の設定来の運用実績

＜設定来の基準価額と純資産総額の推移＞
(2014年6月2日(設定日)～2015年10月16日)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

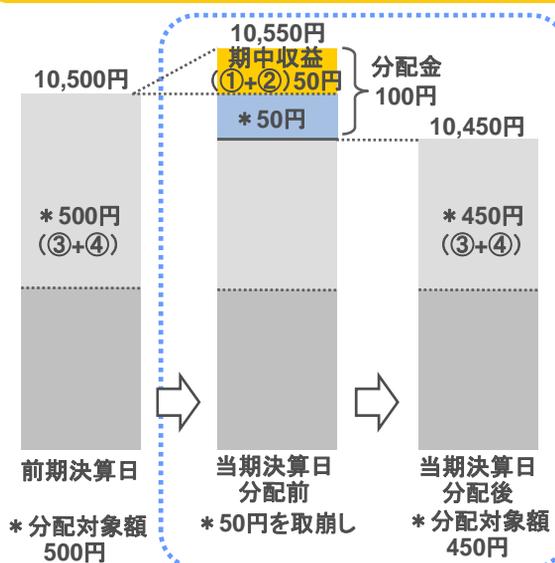
投資信託で分配金が支払われるイメージ



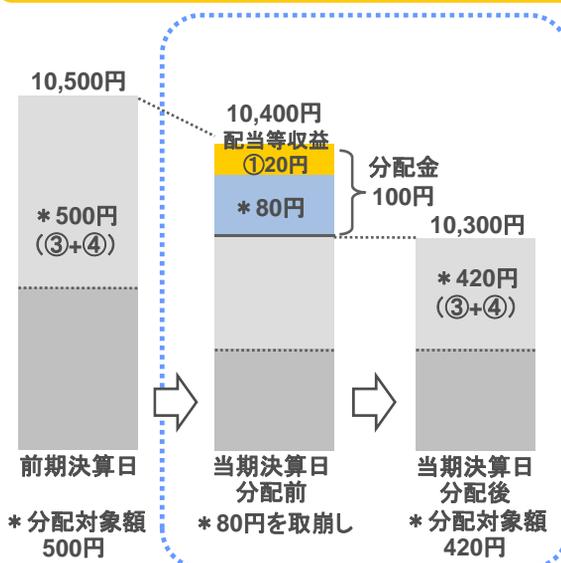
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合



(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

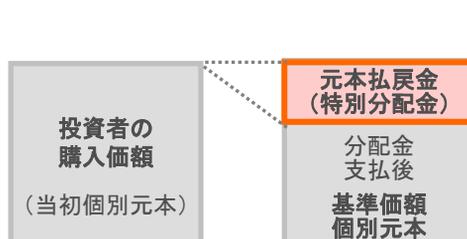
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかつた場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称:ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称:ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

以下では、【ニューサミット】は「世界標準債券ファンド／愛称:ニューサミット」の内容、【ニューサミット(1年決算型)】は「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称:ニューサミット(1年決算型)」の内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

ファンドの特色

1. 国際経済・政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域*1の通貨を投資対象とします。
*1 G20の構成国・地域とします。投資対象通貨は将来変更となる可能性があります。
2. 投資対象通貨の中から3通貨*2程度を選定し、当該通貨建てのソブリン債に投資します。
*2 市況動向および資金動向などにより、組入通貨数が増減する可能性があります。
3. 【ニューサミット】原則として、毎月、安定した分配を行なうことをめざします。
【ニューサミット(1年決算型)】年1回、決算を行ないます。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項①

●リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

(次ページへ続きます)

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称:ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称:ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項②

(前ページより続きます)

【信用リスク】

- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

【為替変動リスク】

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動に影響を受けます。一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

【カントリー・リスク】

- ・投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

●その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

以下では、【ニューサミット】は「世界標準債券ファンド／愛称:ニューサミット」の内容、【ニューサミット(1年決算型)】は「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称:ニューサミット(1年決算型)」の内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／内外／債券
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 【ニューサミット】2020年1月17日まで(2010年3月18日設定)
【ニューサミット(1年決算型)】2029年7月17日まで(2014年6月2日設定)
- 決算日 : 【ニューサミット】毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
【ニューサミット(1年決算型)】毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 : 【ニューサミット】毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。
【ニューサミット(1年決算型)】毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い: 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。
※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。
※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。
※配当控除の適用はありません。
※益金不算入制度は適用されません。

以下では、【ニューサミット】は「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」の内容、【ニューサミット(1年決算型)】は「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」の内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

- 購入時手数料** : 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
《ご参考》
(金額指定で購入する場合)
購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。
(口数指定で購入する場合)
例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.24%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。
購入金額 = (10,000円 / 1万口) × 100万口 = 100万円、
購入時手数料 = 購入金額(100万円) × 3.24%(税込) = 32,400円
となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万2,400円をお支払いいただくこととなります。

- 換金手数料** : ありません。

- 信託財産留保額** : ありません。

※販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬** : 純資産総額に対して年率1.4332%(税抜1.35%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.1232%(税抜1.04%)、投資対象とする「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率が年率0.31%程度となります。
受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。

- その他費用** : 【ニューサミット】目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについてはファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有効証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託報酬から支払われます。

※組入有効証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

【ニューサミット(1年決算型)】目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有効証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託報酬から支払われます。

※組入有効証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

以下では、【ニューサミット】は「世界標準債券ファンド／愛称:ニューサミット」の内容、【ニューサミット(1年決算型)】は「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称:ニューサミット(1年決算型)」の内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
 [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

【ニューサミット】

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
株式会社八千代銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○

【ニューサミット(1年決算型)】

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○

(50音順、資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称:ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称:ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。